

公益財団法人身体教育医学研究所

令和 3（2021）年度事業報告

（令和 3（2021）年 4 月 1 日から令和 4（2022）年 3 月 31 日まで）

I. 法人の概況

1. 設立年月日

平成 11（1999）年 5 月 15 日 研究所開所（社会福祉法人みまき福祉会内）

平成 21（2009）年 2 月 2 日 一般財団法人設立

平成 23（2011）年 3 月 22 日 公益財団法人認定（長野県）

2. 定款に定める目的（定款第 3 条）

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人々の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容（定款第 4 条）

定款第 4 条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分
(1) 身体教育医学に関する調査研究	(公 1) 身体教育医学に関する調査研究事業
(2) 調査研究事業、 健康づくり事業等の受託及び協力	(公 2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への 講師派遣、相談指導等の教育啓発事業
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催	(公 3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した 文献の一般公開等による情報発信事業
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	※内容により（公 1）～（公 3）のいずれかに該当

4. 所管官庁に関する事項

長野県 総務部 情報公開・法務課

5. 主たる事務所の状況

長野県東御市布下 6 番地 1 ケアポートみまき内

6. 職員に関する事項（令和 4（2022）年 3 月 31 日現在）

職員数（臨職数）	前期末比増減 （臨職数）	平均年齢	平均勤続 年数	備考
男子 5 名(1 名)	0 名(0 名)	47.8 歳	10.2 年	うち正規雇用 2 名は東御市より派遣
女子 5 名(4 名)	0 名(0 名)	42.2 歳	9.8 年	
全体 10 名(5 名)	0 名(0 名)	45.0 歳	10.0 年	平成 25（2013）年度末の状況 8 名(3 名)、+2 名、36.6 歳、7.3 年

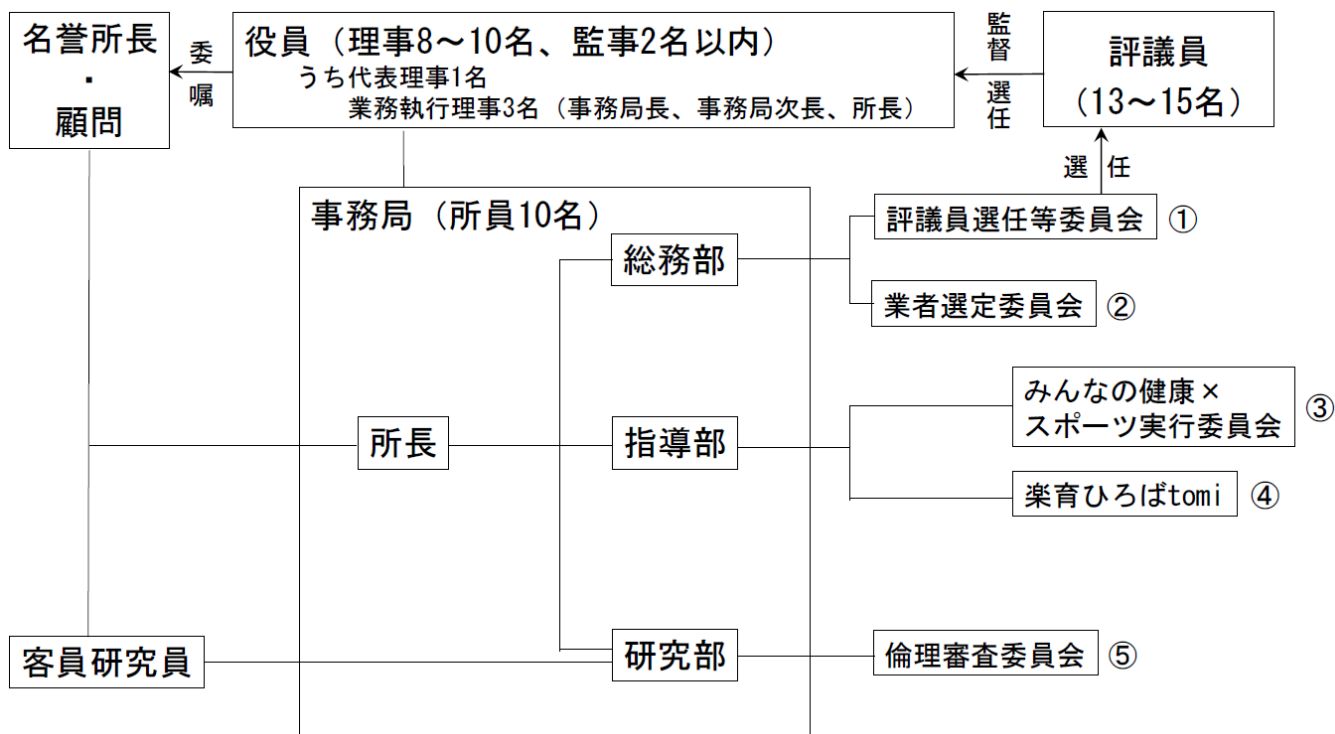
7. 名誉所長、顧問、客員研究員に関する事項（令和4(2022)年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
名誉所長	武藤 芳照	非常勤	一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所・所長
顧問	福島 美穂	非常勤	医療法人ホクレア fクリニックさつぼろ・副院長
顧問	桂川 保彦	非常勤	株式会社スポーツデザイン研究所・首席研究員
顧問	木村 貞治	非常勤	信州大学医学部保健学科・教授
客員研究部長	上岡 洋晴	非常勤	東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻・教授
客員研究部長	小松 泰喜	非常勤	日本大学スポーツ科学部・教授
客員研究部長	朴 眩泰	非常勤	韓国・東亜大学医学生命工学科・教授
客員研究員	加藤 美絵	非常勤	元身体教育医学研究所・研究員
客員研究員	金藤 理絵	非常勤	東御市企画振興部文化・スポーツ振興室・湯の丸高原特設プールPR大使
客員研究員	鎌田 真光	非常勤	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻・講師
客員研究員	齋藤 文護	非常勤	東御市立みまき温泉診療所・副所長
客員研究員	佐藤 照友旭	非常勤	元公益財団法人東京リハビリ・パラリンピック競技大会組織委員会・アスリートビーステム係長
客員研究員	高橋 亮輔	非常勤	日本大学理工学部・准教授
客員研究員	朴 相俊	非常勤	佐久大学看護学部・准教授

8. 役員等に関する事項（令和4(2022)年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
評議員	荒川 玲子	非常勤	NPO 法人うえだミックススポーツクラブ・理事長
評議員	飯島 裕一	非常勤	信濃毎日新聞社・特別編集委員
評議員	石和 大	非常勤	長野県議会・議員
評議員	岩橋 輝明	非常勤	東御市民病院・院長
評議員	内山 三男	非常勤	東御市工業振興会・代表
評議員	掛川 卓男	非常勤	(株)信州東御市振興公社・取締役総務部長
評議員	久堀 周治郎	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・理事長
評議員	小山 隆文	非常勤	東御市・教育長
評議員	佐藤 千枝	非常勤	東御市議会・副議長
評議員	茅野 隆徳	非常勤	社会福祉法人ちいさがた福祉会・常務理事
評議員	中堀 雅夫	非常勤	NPO 法人東御市スポーツ協会・会長
評議員	堀内 ふき	非常勤	佐久大学・学長
評議員	三井 一孝	非常勤	長野県上田保健福祉事務所・副所長
評議員	柳沢 まさる	非常勤	東御市民生児童委員協議会・理事
評議員	横山 好範	非常勤	社会福祉法人東御市社会福祉協議会・会長
代表理事	田丸 基廣	非常勤	東御市・副市長
業務執行理事 (事務局長)	小林 秀行	非常勤	東御市・健康福祉部長
業務執行理事 (事務局次長)	翠川 昌博	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・常務理事
業務執行理事	岡田 真平	常勤	公益財団法人身体教育医学研究所・所長
理事	奥泉 宏康	非常勤	東御市立みまき温泉診療所・所長
理事	北湯口 純	非常勤	身体教育医学研究所うなん・主任研究員
理事	工藤 保子	非常勤	大東文化大学スポーツ・健康科学部・准教授
理事	三溝 和子	非常勤	東御市スポーツ推進委員会・代表
理事	田中 千晶	非常勤	東京家政学院大学人間栄養学部・教授
理事	中村 崇	非常勤	一般社団法人健康福祉広域支援協会・代表理事
監事	北澤 昌雄	非常勤	東御市監査委員会・代表監査委員
監事	小林 経明	非常勤	学校法人信学会・理事長、長野女子短期大学・学長

9. 組織図



※各委員会の構成

①評議員選任等委員会 (5人)

評議員1人、監事1人、事務局員1人、外部委員2人

②業者選定委員会 (委員長及び委員若干名)

委員長:業務執行理事(事務局次長) 委員:理事1名、評議員1名、監事1名、所長、総務部若干名

③みんなの健康×スポーツ実行委員会 (20人以内)

東御市身体障害者福祉協会、東御市手をつなぐ育成会、陽だまりの会、ぴかそくらぶ、はこべの会、東御市、東御市教育委員会、東御市スポーツ推進委員会、(特非)東御市スポーツ協会、(福)みまき福祉会、(福)東御市社会福祉協議会、(福)ちいさがた福祉会、(公財)身体教育医学研究所(事務局)

④楽育ひろばtomi (20人以内)

- (1)公益財団法人身体教育医学研究所関係者
- (2)東御市及び周辺地域の教育・福祉関係者
- (3)東御市役所内関連部署関係者
- (4)識見を有する者

⑤倫理審査委員会 (5人以上)

- (1)医学・医療の専門家等、自然科学の有識者が含まれていること
(福)みまき福祉会(理事長)、市立みまき温泉診療所(所長)、東京農業大学(教授)
- (2)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者が含まれていること
(福)みまき福祉会(理事長職務代理)
- (3)研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者が含まれていること
学識経験者
- (4)委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること
- (5)男女両性で構成されていること
- (6)5人以上であること

II. 事業の状況

1. 事業の実施状況

2021年度は、第3期中期計画の2年目として、掲げた基本的考え【コンセプト】、社会的使命【ミッション】、行動指針【ビジョン】に沿って、当年度の重点課題を定め、とうえで各種事業に取り組んだ。

～基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】～

「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことにより、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

行動指針【ビジョン】 しんたいは、「子どもの育ち」「心身の健康」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成にも貢献します。

まず要旨として、年度当初の事業計画に記載した以下の重点課題に沿って事業の概況を報告する。

<重点課題>

1. 第3期中期計画（2020－2023）の2年目に入り、感染予防に常に配慮しつつ、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献とが両立できる活動基盤を構築していく。
2. 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1，3）
3. 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

①重点課題（1）

第3期中期計画（2020－2023）の2年目に入り、感染予防に常に配慮しつつ、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献とが両立できる活動基盤を構築していく。

正規5名と臨時5名の職員体制で多様な業務を円滑に遂行できるよう、各部門や各所員の役割を明確にするとともに、地域と協働した活動（楽育ひろば、みんなの健康×スポーツ、総合型立ち上げ支援）をさらに推進するなど、限られた人員の中で活動の質を高める仕組みづくりに継続的に取り組んできた。

新型コロナウイルスの周期的な感染拡大に伴う影響について、勤務形態は柔軟に対応できた一方で、現場指導の休止等に伴う依頼の減少は大きく、特に（公2）教育啓発事業の経常収益は、感染拡大前の2019年度19,133,793円に対して、2020年度16,838,149円、2021年度13,012,643円（2019年度対比68%で6,121,150円の減）と2年続けて教育啓発事業収益の減となった（図2 経常収益の推移①参照）。

業務上では、研究、実践の両面において、幅広いネットワークの中で連携をコーディネートする役割が定着してきており、調査研究事業と教育啓発事業の展開における当研究所の強みとなっている。また、コロナ禍にあっても活動可能な組織体として、柔軟な運営を行っている。今後に向けてさらに組織体制や活動内容を充実・発展できるよう、地域からの特色ある発信とシンクタンク機能の強化を進めていく。

加えて、第3期中期計画の中に明示したSDGsのゴール・ターゲットに対して、当研究所の各種活動が貢献できることは明確であり、今後はSDGsとの親和性の高さも法人活動の強みとしていく。

収支全般の状況で報告すべき主な点は次の通り。

【単位：円】

項目	2021年度	2020年度	対前年増減額	前年対比
経常収益計	67,473,912	73,973,473	-6,499,561	91%
うち（公2）教育啓発事業	13,012,643	16,838,149	-3,825,506	77%
事業収益	25,312,211	24,169,305	1,142,906	105%
受取補助金等	31,658,000	33,779,996	-2,121,996	94%
受取寄附金	10,503,469	16,023,931	-5,520,462	66%
経常費用計	72,045,745	71,121,468	924,277	101%
事業費	70,052,591	69,298,750	753,841	101%
当期経常増減額	-4,571,833	2,852,005	-7,423,838	
一般正味財産期末残高	13,276,636	17,848,469	-4,571,833	74%
指定正味財産期末残高	47,200,000	24,210,000	22,990,000	195%
正味財産期末残高	60,476,636	42,058,469	18,418,167	144%

今年度の正味財産期末残高は、前年度の 42,058,469 円から 60,476,636 円へと大幅に増加した。しかしこれは、年度をまたぐ事業として年度末に新たに助成を受けた予算規模の大きい日本財団助成事業（2022 年度末までで 47,200,000 円）によるものであり、次年度に確実に支出するものである。年度によって経常収益・費用の変動が大きい状況はこれまで同様変わっておらず、改めて長期的な資金の見通しが立つ財源を確保し、より安定した持続可能な体制を確立していかなければならない。具体的には、会員制度の導入も視野に入れたしんたい応援寄附金の公募等に取り組むことが喫緊の課題であるが、これは、公益目的事業 1, 2, 3 の充実の中で会員登録を喚起できるような仕組みづくりが不可欠となる。

②重点課題（2）

事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1, 3）

2021 年度も継続的に、地域の要望に応じたテーマと研究所が主体的に取り組むテーマとを融合させて、市の健康福祉・教育関連の分析業務を行うとともに、高地プール関連についても運営支援にかかる業務に加えて、地域住民に直接関わる事業を実施してきた。特に、アスリート食堂を支援する日本水産株式会社との共同研究「スケソウダラの速筋タンパク摂取頻度の検討」や、スポーツコミッションによる中学生高地プールトレーニングの効果検証は、アスリート支援環境を市民還元へ橋渡しする研究として今後に資する研究成果を得ることができた。

また、長野県地域発元気づくり支援金で作成した「地域で楽しく！運営・審判のためのポッチャガイドブック」と関連動画、および東御市地域づくり活動補助金で作成した「里山探検のススメ（里山探検 10 周年記念冊子）」も、これまでの先進的な取り組みを地域に還元できる成果物となった。

加えて、2020～21 年度に日本財団から支援を受けた「with コロナ時代に高齢者が繋がり続ける活動を発展させるハイブリッド型支援法の確立」により一定の成果物が得られたことから派生して、2021 年度～22 年度に日本財団助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」を新たに受けることにつながった。

最後に、継続的な連携協力関係を基盤とした一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所との協働により「湯の丸高原高地トレーニング用プールの安全で効果的な活用に関わる調査研究、及び健康スポーツの普及・教育プログラム開発」に取り組み、教育啓発等に活かす基礎資料を作成した。

調査研究活動（分担研究・共同研究含む）のアウトプットとしては、自己資金・外部資金による調査研究実績 6 件、学術論文実績 4 件、編著書 3 件、学会発表 3 件であった。なお、主任研究者としての研究成果発信や、所員が主体的に取り組む研究の質・量の向上、文部科学省の研究機関の指定等を活用しての競争的資金の獲得については、倫理審査体制の充実を含めて学術機関との連携の模索を続けている。

「しんたい学会」は、昨年度に引き続き感染拡大防止の観点から開催を断念せざるをえなかったが、感染拡大が抑制されている合間の期間に、新規事業の人材養成（B&G 財団「体眠預金を活用した体験格差解消事業」リーダー養成）に取り組むことができた。また、関係する各種団体への役員等の関わりは 30 件（前年度 28 件）、書籍・新聞・雑誌等への掲載は 47 件（前年度 43 件）であった。

③重点課題（3）

理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

教育啓発事業の規模を件数及び対象人数で示すと、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた結果、健康づくり事業は 622 件（前年度 405 件の 154%。ただし、ワクチン接種支援への従事実績を除くと 330 件で 81%）、24,124 人（同 8,211 人の 294%。ただし、ワクチン接種支援の実績を除くと 8,331 人で 101%）、講演会、教室等への講師派遣は 132 件（同 134 件の 99%）、5,858 人（同 4,217 人の 139%）、相談及び指導は 99 件（同 66 件の 150%）、4,540 人（同 3,110 人の 146%）で、ワクチン接種支援の業務実績を含むと 853 件 34,522 人、ワクチン接種支援の業務実績を含まないと 561 件（同 605 件の 93%）、18,729 人（同 15,538 人の 121%）であった。

また、前年度までと同様に、直接指導を行う形態から人材育成による働きかけに移行してきているが、地域貢献に関わる業務量は変わらず大きい状況であった。中でも、健康づくりに関する相談及び指導に含まれる「『みんなの健康×スポーツ』実行委員会事業」と「楽育ひろば tomi 事業」の 2 つの事業は、いずれも研究所が事業を組み立て、関係機関や地域ボランティア等の積極的な参画を得ての取り組みが定着するとともに、市や関連団体の関与もさらに強まってきており、法人が主体的に地域に働きかける事業として重要な位置づけになっている。また年度末には、研究所が深く関わり合いを持って設立準備に関わってきた総合型地域スポーツクラブ「一般社団法人 Sany TOMI」が正式に設立されて活動がスタートした、これにより、今後に向けて地域との協働による取り組みがより進めやすい体制が整った。

(1) 身体教育医学に関する調査研究

1. 自己資金による調査研究事業

- ① 東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業「湯の丸高地トレーニング用プールの安全で効果的な活用に関わる調査研究、及び健康スポーツの普及・教育プログラム開発」(半田秀一)

2. 外部資金による調査研究事業

- ① 日本財団 2020 年度(～2021 年度)新型コロナウイルス感染症に伴う社会活動支援「with コロナ時代に高齢者が繋がり続ける活動を発展させるハイブリッド型支援法の確立」(岡田真平)
- ② 長野県地域発元気づくり支援金「誰もが身近でスポーツに親しめる環境整備のさらなる発展に向けた人材育成事業」(岡田佳澄)
- ③ 日本農村医学会・農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」(岡田真平：分担研究者)
- ④ 日本水産株式会社共同研究「スケソウダラの速筋タンパク摂取頻度の検討」(半田秀一)
- ⑤ 日本財団 2021 年度(～2022 年度)助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」(岡田真平)

3. 学術論文

- ① N Fukushima, T Abe, J Kitayuguchi, C Tanaka, S Amagasa, H Kikuchi, **S Okada**, S Tanaka, S Inoue. Adherence to the Japanese Physical Activity Guideline During Early Childhood Among Rural Preschoolers: A Cross-sectional Study. *Journal of Epidemiology*, 31(3):194-202, 2021.
- ② J Kitayuguchi, T Abe, K Okuyama, T Gomi, **S Okada**, K Shiwaku, Y Mutoh. Association between a hilly neighborhood environment and falls among rural older adults: a cross-sectional study. *Journal of Rural Medicine*, 16(4):214-221, 2021.
- ③ H Kamioka, H Okuizumi, **S Handa**, J Kitayuguchi, R Machida. Effect of non-surgical interventions on pain relief and symptom improvement in farmers with diseases of the musculoskeletal system or connective tissue: an exploratory systematic review based on randomized controlled trials. *Journal of Rural Medicine*, 17(1): in press.
- ④ **半田秀一, 岡田真平, 横井佳代**, 奥泉宏康, 齋藤文護, 小林靖宗, 増木静江, 能勢博. 中程度高地・低酸素環境で行うウォーキングの健康・体力づくり効果. 令和 2 年度健康運動指導研究報告書, 公益財団法人健康・体力づくり事業財団.

4. 編著書

- ① **岡田真平**, 齋藤義信, 石井莊一, 下光輝一. 健康運動指導士・健康運動実践指導者に関わる制度・資格(特集 アスリートを支援する専門職種: 知っておくべきスポーツ医学に関わる制度・資格と法的知識)-(スポーツ医学に関わる制度・資格). *臨床スポーツ医学* 38(4): 416-421, 文光堂, 2021.
- ② **岡田真平, 半田秀一**. 地域における休養マネージメントの実践(東御市). 休養学基礎-疲労を防ぐ! 健康指導に活かす(杉田正明, 片野秀樹編著), pp194-200, メディカ出版, 2021.
- ③ **半田秀一**. コラム「水中ウォーキングはリハビリテーションにもってこい!». *スポーツ医学の道を志す君たちへ-予防からコンプライアンス教育まで*(武藤芳照著), pp208-209, 南江堂. 2021.

5. 学会発表

- ① **半田秀一**. 水中運動療法. 第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 6 月 10-13 日, 2021.
- ② **岡田真平**. 「コロナ禍」におけるウエルネスライフ～健康運動指導の立場から～. 日本ウエルネス学会第 18 回大会シンポジウム, WEB, 9 月 11 日, 2021.
- ③ **半田秀一, 岡田真平, 横井佳代**, 奥泉宏康, 齋藤文護, 増木静江, 能勢博. Effects of interval walking training at semi-high altitude on physical fitness. 第 76 回日本体力医学会大会, 三重 WEB, 9 月 17-19 日, 2021.

(2) 調査研究事業、健康づくり事業等の受託及び協力

1. 調査研究事業

① 東御市健康保健課

- 1) 5 地区別健康課題資料作成業務

件数 のべ人数

計 18 件 計 287 人

- -

2) 特定健診データ集計・分析業務	-	-
② 東御市福祉課		
1) 地域支援事業評価分析事業	-	-
③ 公益財団法人日本水泳連盟		
1) 高地トレーニングプール運営支援委員会関連業務	1	16
④ 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション		
1) モニタリング調査等業務	1	11
2) インナー施策等推進業務		
・アスリートリカバリー教室	5	68
・中学生高地トレーニング効果検証練習会	11	192
2. 健康づくり事業等	計 622 件	計 24124 人
① 東御市健康保健課健康増進係		
1) 出前講座 運動教室等指導事業 (集団)	7	167
2) 特定健診受診者運動教室指導事業 (集団)	8	66
3) 健康づくり運動教室指導事業 (集団)	8	72
4) 健康づくり事業	1	50
② 東御市健康保健課保健係		
1) 心の健康づくり推進事業	-	-
2) 新型コロナワクチン集団接種運営業務	292	15793
③ 東御市福祉課高齢者係		
1) 介護予防把握事業(健脚度測定、ずく出し教室)	11	158
2) 地域リハビリテーション活動支援事業	18	209
3) 介護予防指導員派遣事業	6	89
④ 東御市子育て支援課		
1) 運動指導等講師派遣業務	8	221
2) 東御の子どもの元気な育ちを支える事業	16	303
⑤ 東御市企画政策部文化・スポーツ振興室		
1) 障がい児者の健康づくり運動実施支援	8	160
2) 総合型地域スポーツクラブ設立検討会議並びに設立準備委員会	7	101
3) 放課後こども教室「げんき塾」支援	8	172
4) 湯の丸高原スポーツ交流施設整備事業成果報告会開催運営業務	1	250
⑥ 東御市学校教育係		
1) 市内小中学校体力向上支援事業	27	1593
2) 小学校新体力テスト集計分析業務	-	-
⑦ 東御市民病院庶務係		
1) みまき温泉診療所 リハビリ指導助手派遣	19	296
2) みまき温泉診療所 リハビリテーション業務	49	354
3) 病院経営改善に関する勉強会等講師派遣業務	3	30
⑧ 社会福祉法人みまき福祉会 理学療法士派遣		
1) 温泉アクティブセンター	7	7
2) 特別養護老人ホームケアポートみまき	38	642
⑨ 立科町		
1) はつらつウォーキング教室	6	143
2) いきいき教室	5	137
3) たてしな保育園運動あそび指導事業業務	16	555
4) 立科小学校運動能力向上業務	15	1334
⑩ 学校法人円福学園		
1) 円福幼稚園	27	945
⑪ 公益財団法人日本水泳連盟		
1) 高地トレーニングプール運営支援委員会関連業務	1	16

⑫その他

1) 東御市田楽平区健康サロン	7	55
2) 東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	3	206

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣

計 132 件 計 5858 人

1. 授業講師

① 上田女子短期大学	33	1222
② 信州スポーツ医療福祉専門学校	31	2965
③ 長野救命医療専門学校	15	168
④ 東御清翔高等学校	2	80

2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応（別表）

51 1423

(4) 健康づくりに関する相談及び指導

計 99 件 計 4540 人

1. 楽育ひろば tomi 事業

里山探検活動「キラキラ」(2-3歳児の親子活動)	22	820
里山探検活動「ドキドキ」(年中から小1の子ども活動)	15	640
里山探検活動「ニコニコ」(親子自然体験活動)	17	1009
里山探検事業デイキャンプ(親子野外体験・交流イベント)	1	148
ボランティア研修会(安全管理講習、フィールドリーダー会議)	13	98
里山探検写真展「みんなの足あと」(地域発元気づくり支援金)	8(9/14-22)	480
里山フェスティバル(地域発元気づくり支援金)	1	286
あそび歌研修会オンライン(地域発元気づくり支援金)	1	22
親子あそび歌公演会(地域発元気づくり支援金)	1	89
小学生の里山探検(地域発元気づくり支援金)	3	79

2. 「みんなの健康×スポーツ」実行委員会事業

とうみユニバーサルスポーツクラブ「わくわくスポーツ」	7	304
----------------------------	---	-----

3. B&G財団休眠預金助成事業

子ども誰でも居場所「くる me」	9	555
カヌー体験活動	1	10

(5) 講演会、講習会、研究会等の開催

1. B&G財団休眠預金助成事業リーダー養成講座	7/18	11
--------------------------	------	----

(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行

1. 中高年のための健康スポーツのしかたと注意
2. 地域で楽しく！運営・審判のためのポッチャガイドブック
3. 東御市の自然あそびの「みんなのあしあと」を辿ろう 里山探検のススメ

(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧

1. 研究所図書室の充実	図書 1574 冊 報告書資料 74 冊
--------------	-------------------------

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 各種団体役員等

- 1) 公益財団法人運動器の健康・日本協会理事(岡田真平)
- 2) 社会福祉法人みまき福社会理事(岡田真平)
- 3) 身体教育医学研究所うなんん運営委員(岡田真平)
- 4) NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部長(岡田真平)
- 5) 日本転倒予防学会総務担当理事(岡田真平)
- 6) 信州公衆衛生学会理事・編集委員(岡田真平)

- 7) 日本運動疫学会編集委員・プロジェクト研究委員 (岡田真平)
- 8) 日本障がい者スポーツ学会理事 (岡田真平)
- 9) 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事 (岡田真平)
- 10) 一般財団法人浅間山麓スポーツ医学研究所幹事 (岡田真平)
- 11) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員 (岡田真平)
- 12) 高齢化社会一ウェルビーイングマネジメントシステム国際標準化委員会委員 (岡田真平)
- 13) とうみユニバーサルスポーツクラブ理事・NPO 法人東御市スポーツ協会評議員 (岡田真平)
- 14) 御牧ふれあいの郷づくり協議会生活環境部会長 (岡田真平)
- 15) 東御市スポーツ推進審議会委員 (岡田真平)
- 16) みんなの健康×スポーツ実行委員 (岡田真平:代表・半田秀一・岡田佳澄・上蘭美千代)
- 17) 東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会委員 (岡田真平・渡邊真也)
- 18) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会副会長 (半田秀一)
- 19) 日本障がい者スポーツ協会・指導者協議会トレーナー部会北信越ブロック代表 (半田秀一)
- 20) 高所トレーニング環境システム研究会専門委員 (半田秀一)
- 21) 総合型地域スポーツクラブ NPO 法人うえだミックススポーツクラブ理事 (渡邊真也)
- 22) 北御牧名立友好協会幹事 (渡邊真也)
- 23) 信州男性保育者ネットワーク世話人 (渡邊真也)
- 24) 北御牧地区友遊クラブ実行委員 (渡邊真也:実行委員長・谷貴人)
- 25) 楽育ひろば tomi (渡邊真也:代表・谷貴人)
- 26) 東信地区障がい者スポーツ指導員協議会監事 (岡田佳澄)
- 27) 東御市社会教育委員 (岡田佳澄)
- 28) 東御市いじめ・不登校対策連絡協議会委員 (岡田佳澄)
- 29) 東御市立北御牧中学校学校評議員 (岡田佳澄)
- 30) 東御市生活支援協議体委員 (横井佳代)

2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載

- 1) 東御で学術研究推進へ包括協定 市と佐久学園 (信濃毎日新聞、2021. 4. 23)
 - 2) 東御市と佐久学園が包括協定 健康、福祉、医療で連携 (東信ジャーナル、2021. 4. 27)
 - 3) 東御市と佐久学園が包括協定締結 「まちづくりを推進」 (信州民報、2021. 4. 27)
 - 4) 東御の自然の中で自由に遊ぼう「里山探検キラキラ」 (信濃毎日新聞、2021. 5. 12)
 - 5) 湯の丸高原 アスリート食堂の管理栄養士 食事面、栄養面を支援 (信濃毎日新聞、2021. 6. 5)
 - 6) 金メダリスト金藤理絵さんが指導 小学生の「水泳教室」 (信州民報、2021. 6. 15)
 - 7) 平井伯昌監督記事掲載 「GMO アスリートパーク湯の丸」に感謝 (月刊水泳、2021. 7月号)
 - 8) 高地で運動 中高年に効果 平地より短期間で筋肉増 (信濃毎日新聞、2021. 7. 2)
 - 9) 市内全5小学校で初「水泳授業」金藤理絵さんが指導 (信州民報、2021. 7. 16)
 - 10) オリンピック代表選手を応援! 「一番観音」で願い込め絵馬奉納 (信州民報、2021. 7. 23)
 - 11) 北御牧中学3年生 芸術むら公園で野外学習 (信州民報、2021. 7. 27)
 - 12) 子どもの肥満・痩身が増 県内高3男子目立つ二極化 (信濃毎日新聞、2021. 7. 29)
 - 13) 大橋2冠 沸いた湯の丸 競泳女子快挙 合宿地に喜び (信濃毎日新聞、2021. 7. 29)
 - 14) 東京パラリンピック「ボッチャ」紹介 東御市ボッチャ活動に積極的 (信州民報、2021. 8. 26)
 - 15) 倉澤隆平医師が出版「亜鉛欠乏症」紹介 現代の“国民病” (信濃毎日新聞、2021. 8. 19)
 - 16) 東京五輪2冠! 今冬、報告会開催予定 大橋選手トークセッションも (信濃毎日新聞、2021. 9. 4)
 - 17) 大橋選手「金」に貢献したが、高地プール五輪後も課題 (信濃毎日新聞、2021. 9. 5)
 - 18) 高地で鍛錬 体内で何が 武藤名誉所長記事掲載 (読賣新聞、2021. 9. 14)
 - 19) 自然で遊ぶ子どもの笑顔捉えた写真展 (信濃毎日新聞 2021. 9. 16)
 - 20) 「みんなの足あと」厳選した60枚展示 (信州民報、2021. 9. 16)
 - 21) 「子どもらの写真展」里山探検活動10周年 (読賣新聞、2021. 9. 17)
 - 22) 子どもの笑顔に出会える写真展 里山探検10周年記念 (東信ジャーナル、2021. 9. 17)
 - 23) 総合型クラブ来年2月設立 東御の子どもにスポーツの場を (信濃毎日新聞、2021. 9. 30)
 - 24) みまきっ子体験クラブ「特産品の味わい交流」 (信州民報、2021. 10. 6)
 - 25) 市内全小・中学校 給食で高地トレーニング食事体験 (信州民報、2021. 10. 13)
 - 26) 「ボッチャ」白熱の戦い 東御で大会 世代超え交流 (信濃毎日新聞、2021. 10. 17)
 - 27) 岡田所長記事掲載「パラスポーツの魅力」 (Moving、12月号)
-

- 28) 湯の丸高トレプールで中学生がトレーニング体験（東信ジャーナル、2021. 12. 01）
- 29) 湯の丸高トレプールで練習！北御牧中生徒2人が全国大会へ（信州民報、2021. 12. 1）
- 30) 北御牧中生徒2人 全国規模の競泳大会で好成績（東信ジャーナル、2021. 12. 2）
- 31) 湯の丸屋内プール成果報告会記事掲載（月刊水泳、2022. 2. 15）
- 32) 長野市で第30回日本障がい者スポーツ学会開催（信濃毎日新聞、2021. 12. 5）
- 33) 中学生高地プールで強化練習 心拍数など測定 適否調査（読売新聞、2021. 12. 9）
- 34) GMOアスリーツパーク湯の丸での強化合宿を報告（月刊水泳、2021. 12. 15）
- 35) ボッチャの審判・指導者の育成に 東御 実行委が動画撮影（信濃毎日新聞、2021. 12. 19）
- 36) 湯の丸高原スポーツ交流施設整備事業成果報告会周知（市報とうみ、2022. 1 月号）
- 37) 「ちょっと耳よりな話」新国立劇場バレエ団の医療支援の関わり（市報とうみ、1 月号）
- 38) 北御牧地区一周駅伝大会 記事掲載（市報とうみ、1 月号）
- 39) “Sany TOMI（サニーとうみ）”設立に向け、会員登録予約スタート（市報とうみ、1 月号）
- 40) 高トレプール 中学生らの活用に向けた取り組みを推進！（信州民報、2022. 1. 1）
- 41) 東御市、東京五輪代表ら招き成果報告会（信濃毎日新聞、2022. 1. 11）
- 42) 「Sany TOMI」発足 小中学生の居場所づくりにも（東信ジャーナル、2022. 1. 13）
- 43) 湯の丸高原スポーツ交流施設報告会 大橋選手からもメッセージ（信州民報、2022. 1. 14）
- 44) 湯の丸プールなど 高地トレーニング施設成果報告会（東信ジャーナル、2022. 1. 18）
- 45) 湯の丸屋内プール成果報告会 記事掲載（月刊水泳、2022. 2. 15）
- 46) （一社）Sany TOMI 設立 気軽にスポーツを楽しみたい人を応援！（市報とうみ、3 月号）
- 47) 「Sany TOMI」設立 子ども達が楽しく体動かせる場に（東信ジャーナル、2022. 3. 9）

【別表】

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣

2. 講演会、健康づくり教室講師の詳細

場所	依頼元・依頼事業	内容	担当
【市内】			
1 東御市中央公民館	東御市健康福祉部健康保健課健康増進係・東御市健康づくり推進委員会全体研修会	東御市健康づくり推進委員会全体研修会	岡田
2 ゆうふるtanaka	ゆうふるtanaka・ニッスイ共同研究	筋力測定研修	半田、岡田
3 ひといき	一般社団法人ひといき	からだをいたわる健康体操	横井
4 東御中央公園第2体育館	東御市社会福祉協議会・福祉団体交流会	ボッチャの試合運営・審判	半田、佳澄
5 明神館	東御市社会福祉協議会・介護者リフレッシュ事業	ストレッチング・（ポールウォーキング雨天中止）	横井
6 芸術むら公園	東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	北御牧中学校カヌー体験	谷
7 芸術むら公園	北御牧地区健康づくり推進員研修会・北御牧地区健康づくり推進員	ポールウォーキング教室	横井
8 四季の森	おひさま子ども園	里山遊び	谷
9 芸術むら公園	東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会・カヌー体験	カヌー体験	谷
10 弥津地区出張・新張地域	弥津地区健康づくり推進員	ポールウォーキング教室	横井
11 研究所他	北御牧中学校・職場体験	職場体験	渡邊 渡邊
13 子育て支援センター	テレビ信州・日本テレビ家からだweek	子どもの運動遊び（10/26取材）	渡邊
14 中央公民館～田中商店街周辺	田中地区健康づくり推進員	ウォーキング	横井
15 湯野コミュニティセンター	湯野地区健康づくり推進員	スロージョギング	横井
16 北御牧公民館	北御牧地区健康づくり推進員	スロージョギング	横井
【県内】			
1 長野市柳原体育館	北信教育事務所・わくわくスポーツセミナー	子どもが夢になる運動あそび	渡邊
2 ミックスが-アクト	ミックスが-アクト・理事会	理事会	渡邊
3 ケアポートみまき	佐久平総合リハビリセンター・災害時の障がい者支援技術研修会	事前研修	佳澄
4		実技指導サポート	半田
5 上田市塩田公民館	ミックスが-アクト・令和3年度総会	令和3年度総会	渡邊
6 オンライン開催	長野県上田保健福祉事務所健康づくり支援課・生活習慣病予防のための健診・保健指導研修会	コロナ禍における身体活動～生活習慣病予防からフレイル予防まで～	横井
7 上田市伍加自治会館	上田市社会福祉協議会・令和3年度中塩田地区福祉推進委員協議会研修会	ボッチャ	佳澄
8 ケアポートみまき	佐久平総合リハビリセンター・災害時の障がい者支援技術研修会（プール）	実技指導サポート	半田
9 立科小学校	立科小学校・リズム運動指導	リズム運動指導	鈴木
10 緑の牧場学園	長野県健康増進課・長野県健康増進課運動アドバイザー	肩こり、腰痛改善「ストレッチ教室」	横井
12 立科小学校	立科小学校・リズム運動指導	リズム運動指導	鈴木
13 サントミュージゼ	新国立劇場バレエ団・東京健康リハビリテーション総合研究所	上田公演での医療支援	岡田、横井
14 別所神社	上田女子短期大学地域連携センター・令和3年度上田市活力あるまちづくり支援金活用事業	別所がある身体活動～親子deふれあいあそび	渡邊
15 立科小学校	立科小学校・リズム運動指導	リズム運動指導	鈴木
16 塩尻市吉田東公民館	長野県スポーツ協会・都道府県普及促進研修会	アクティブ・チャイルド・プログラム	渡邊
17 立科小学校	立科小学校・リズム運動指導	リズム運動指導	鈴木
18 はたらクリエイト	（株）さとゆめ・林野庁補助事業	里山探検プロジェクト事例報告	渡邊
19 佐久合同庁舎	佐久保健福祉事務所	佐久地域「健康と食のつどい」	岡田
【県外】			
1 WEB会議	社会的健康戦略研究所・ウェルビーイングマネジメントシステム検討	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
2			
3 芸術むら公園	日体大保健医療学部整備医療学科・野外活動実習	カヌー・SUP等水辺体験・水辺の安全教育	渡邊他
4			
5 オンライン開催	日本ウエルネス学会・日本ウエルネス学会第18回大会シンポジウム	「コロナ禍」におけるウエルネスライフ～健康運動指導の現場から～	岡田
6 WEB会議	社会的健康戦略研究所・ウェルビーイングマネジメントシステム検討	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
7 オンライン	筑波大学SWC政策開発研究センター・SWC政策開発研究センター第13回定例研究会	地域特性を活かしたスポーツ振興とまちづくり	岡田
8 オンライン	中京大学大学院スポーツ科学研究科・キャリア形成講演会	体育・スポーツ分野から地域を創る	岡田
9 新潟市	日本パラスポーツ協会・ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト	ジャパン・ライジング・スター・プロジェクトの体力測定など	半田
10 オンライン	日本パラスポーツ協会・トレーナー部会	トレーナー部会	半田
11 健康・体力づくり事業財団	健康・体力づくり事業財団	健康運動指導士養成テキスト検討委員会	岡田

2. 役員会等に関する事項

【理事会、評議員会等】

<p>令和3年 6月6日(日)</p>	<p>第1回理事会(中央公民館:理事10名、監事2名、名誉所長1名、事務局2名)</p> <p>決議事項 第1号議案:令和2年度事業報告及び決算について 第2号議案:令和3年度定時評議員会の招集について 第3号議案:コンプライアンス規程の改定について</p> <p>報告事項 前回議事報告 評議員選任等委員会報告 客員研究員規程改定の専決報告と今後の役職員等体制案 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 東御市と学校法人佐久学園との包括協定締結完了 日本財団助成事業(感染症社会活動支援)の進捗状況 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会の検討経過 令和3年度長野県地域発元気づくり支援金の採択事業 「星のや軽井沢」提供プログラム「森林養生」の監修 (一社)東京健康リハ総研他関係者・機関からの発刊物</p>
<p>6月24日(水)</p>	<p>定時評議員会(ケアポートみまき:評議員14名、理事4名、監事2名、事務局6名)</p> <p>決議事項 第1号議案:令和2年度事業報告及び決算の承認</p> <p>報告事項 令和3年度事業計画・予算と役職員の体制 東御市と学校法人佐久学園との包括協定 日本財団助成事業(感染症社会活動支援)の進捗状況 令和3年度長野県地域発元気づくり支援金の採択事業 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会の検討経過</p>
<p>11月7日(日)</p>	<p>第2回理事会(ケアポートみまき:理事10名、監事2名、名誉所長1名、事務局2名)</p> <p>決議事項 第1号議案:令和3年度第1次補正予算について</p> <p>報告事項 第1回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 令和3年度事業中間報告及び上半期決算報告 各種事業の進捗状況(リハ総研委託、日本財団助成等 御寄附の報告 ホームページの運営状況 総合型地域スポーツクラブの設立準備状況</p>
<p>令和4年 3月12日(土)</p>	<p>第3回理事会(ケアポートみまき:理事10名、監事2名、名誉所長1名、事務局4名)</p> <p>決議事項 第1号議案:就業規則の改定について 第2号議案:育児休業等規則及び介護休業等規則の改定について 第3号議案:特定資産の目的外取崩しについて 第4号議案:令和4年度事業計画・予算について 第5号議案:設備投資(会計システムリニューアル)について</p> <p>報告事項 第2回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 令和3年度事業・会計中間報告 御寄附の報告 ホームページの運営状況 (一社)日本転倒予防学会事務局業務受託の件 総合型地域スポーツクラブ(一社)Sany TOMI設立の件</p>
<p>3月31日(木)</p>	<p>臨時評議員会(書面決議:評議員15名)</p> <p>決議事項 第1号議案:理事の選任について</p>

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

No.	日程	職務内容	担当理事
1	4月01日(木)	辞令交付、年度始め式、業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・翠川・岡田
2	4月12日(月)	市役所年度始め式	田丸・小林・岡田
3	4月20日(火)	学校法人佐久学園との包括協定締結の最終打合せ	田丸・小林・岡田
4	4月22日(木)	東御市と学校法人佐久学園との包括協定締結式	翠川・岡田
5		社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
6	4月23日(金)	島根県雲南市・研究所うなん訪問に関する打合せ	田丸・岡田
7	4月28日(水)	とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・岡田
8	5月12日(水)	東京健康リハ総研・研究所うなん合同WEB会議	翠川・岡田
9	5月13日(木)	大塚製薬株式会社佐賀栄養製品研究所研究成果報告会	翠川・岡田
10	5月18日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川
11	5月24日(月)	東方久男顧問公認会計士会計指導	翠川・岡田
12	5月27日(木)	法人決算監査	小林・翠川・岡田
13	6月02日(水)	評議員選任等委員会	小林・岡田
14	6月04日(金)	業務執行理事会	田丸・小林・翠川・岡田
15	6月06日(日)	令和3年度第1回理事会	田丸・小林・翠川・岡田
16	6月08日(火)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
17	6月11日(金)	東御市議会全員協議会決算説明	田丸・小林・翠川・岡田
18	6月18日(金)	武藤名誉所長・中村理事と市民病院連携に関する会議	翠川・岡田
19	6月22日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
20	6月24日(木)	令和3年度定時評議員会	田丸・小林・翠川・岡田
21	6月25日(金)	身体教育医学研究所うなん運営委員会(WEB参加)	岡田他
22	6月28日(月)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
23	7月06日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
24	7月21日(水)	長野県総務部情報公開・法務課による定期立入検査	翠川・岡田
25	7月23日(金)	市民病院連携に向けた勉強会(武藤ゼミ)打合せ	田丸・小林・翠川・岡田
26	8月02日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
27	8月26日(木)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
28	9月14日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川
29	10月03日(日)	雲南市速水雄一元市長講演会(東御の日)・懇談会	田丸・翠川・岡田
30	10月18日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議・辞令交付	田丸・小林・翠川・岡田
31	11月05日(金)	業務執行理事会	田丸・小林・翠川・岡田
32	11月06日(土)	武藤名誉所長他関係者との懇談会	田丸・小林・翠川・岡田
33	11月07日(日)	令和3年度第2回理事会	田丸・小林・翠川・岡田
34	11月19日(金)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
35	12月06日(月)	社会福祉法人みまき福祉会事業所報告会	翠川・岡田
36	12月21日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
37	12月24日(金)	武藤名誉所長・田丸代表理事東京健康リハ総研懇談	田丸・岡田
38	1月04日(火)	市役所仕事始め式	田丸・小林・岡田
39	1月6日(木)	しんたい仕事始め式	田丸・小林・翠川・岡田
40	1月10日(月)	高地プール運営支援委員会・地方創生事業成果報告会	田丸・岡田
41	1月17日(月)	ナショナルトレーニングセンター検討庁内会議	田丸・岡田
42	1月20日(木)	島根県雲南市・吉山副市長とのリモート懇談会	田丸・翠川・岡田
43	1月21日(金)	業務執行理事会、里山探検活動拠点に関する協議	田丸・小林・翠川・岡田
44	1月28日(金)	身体教育医学研究所うなん運営委員会(WEB参加)	岡田他
45	2月21日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
46	2月25日(金)	市高齢者福祉拠点検討委員会アドバイザーボード	小林・岡田
47	3月10日(木)	業務執行理事会	田丸・小林・翠川・岡田
48	3月11日(金)	市高齢者福祉拠点検討委員会アドバイザーボード	小林・岡田
49	3月12日(土)	令和3年度第3回理事会	田丸・小林・翠川・岡田
50	3月24日(木)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
51	3月28日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田

3. 各年度末の正味財産、経常収益、経常費用、人件費率、固定資産の推移

図1 正味財産期末残高の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

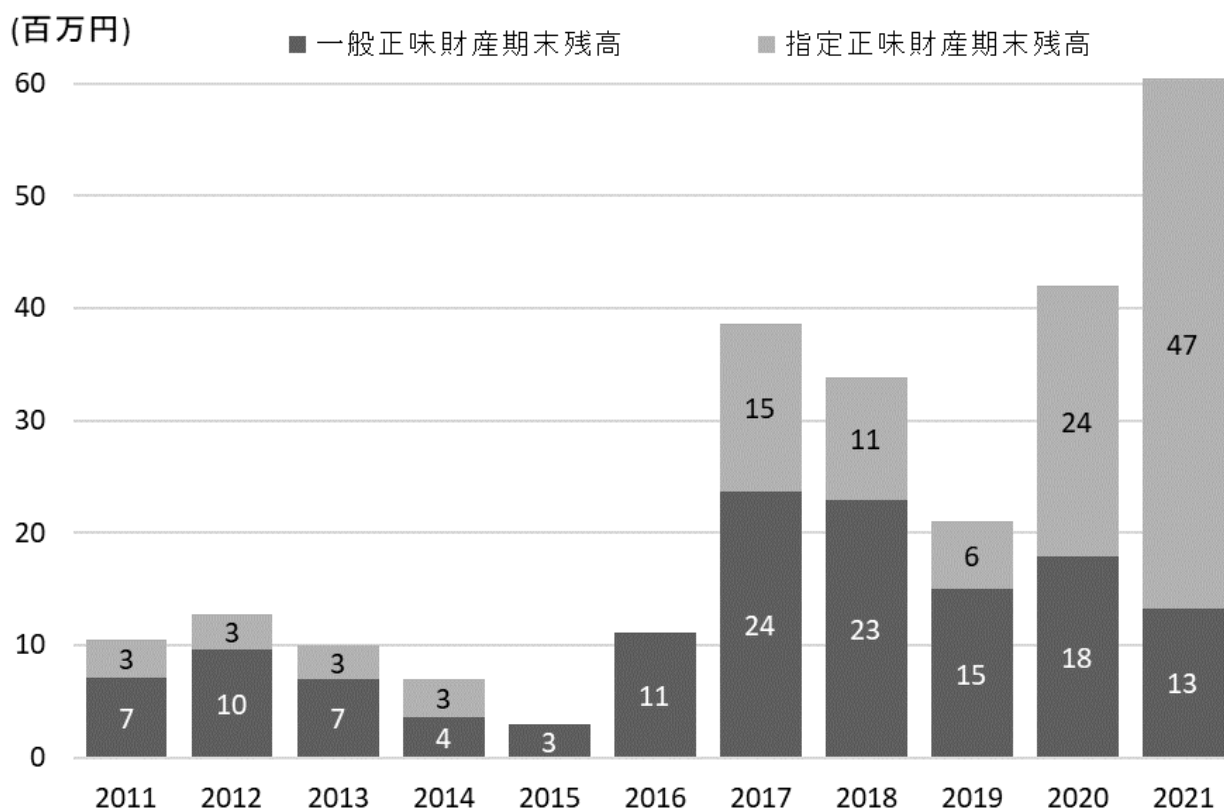


図2 経常収益の推移①（公益目的事業区分別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

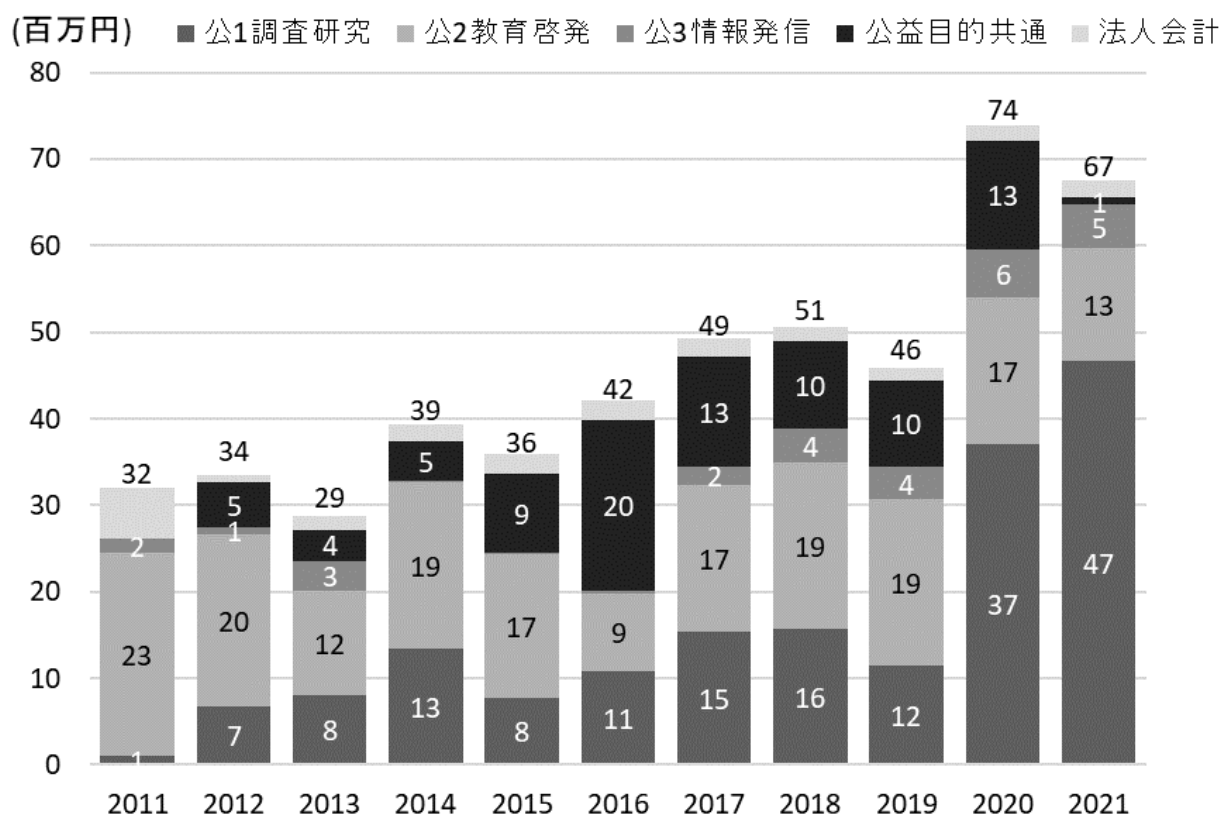


図3 経常収益の推移②（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

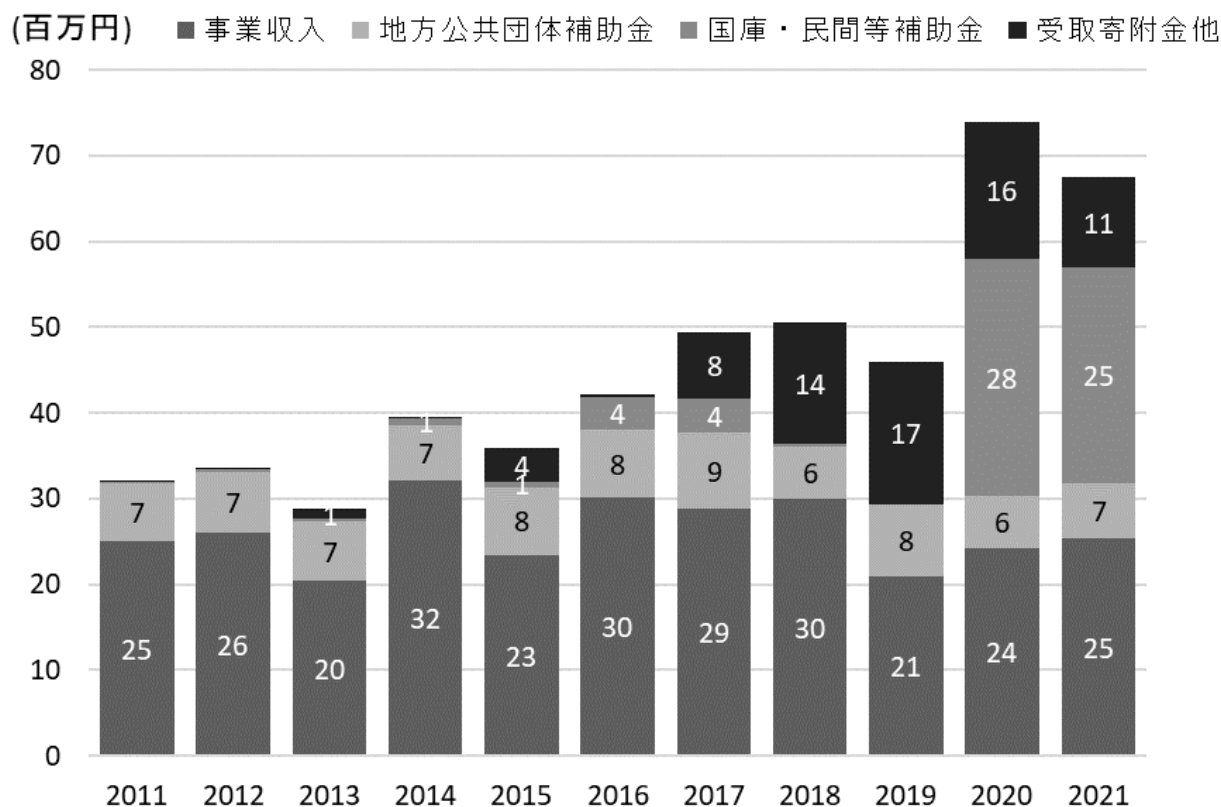


図4 経常費用および人件費率の推移（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

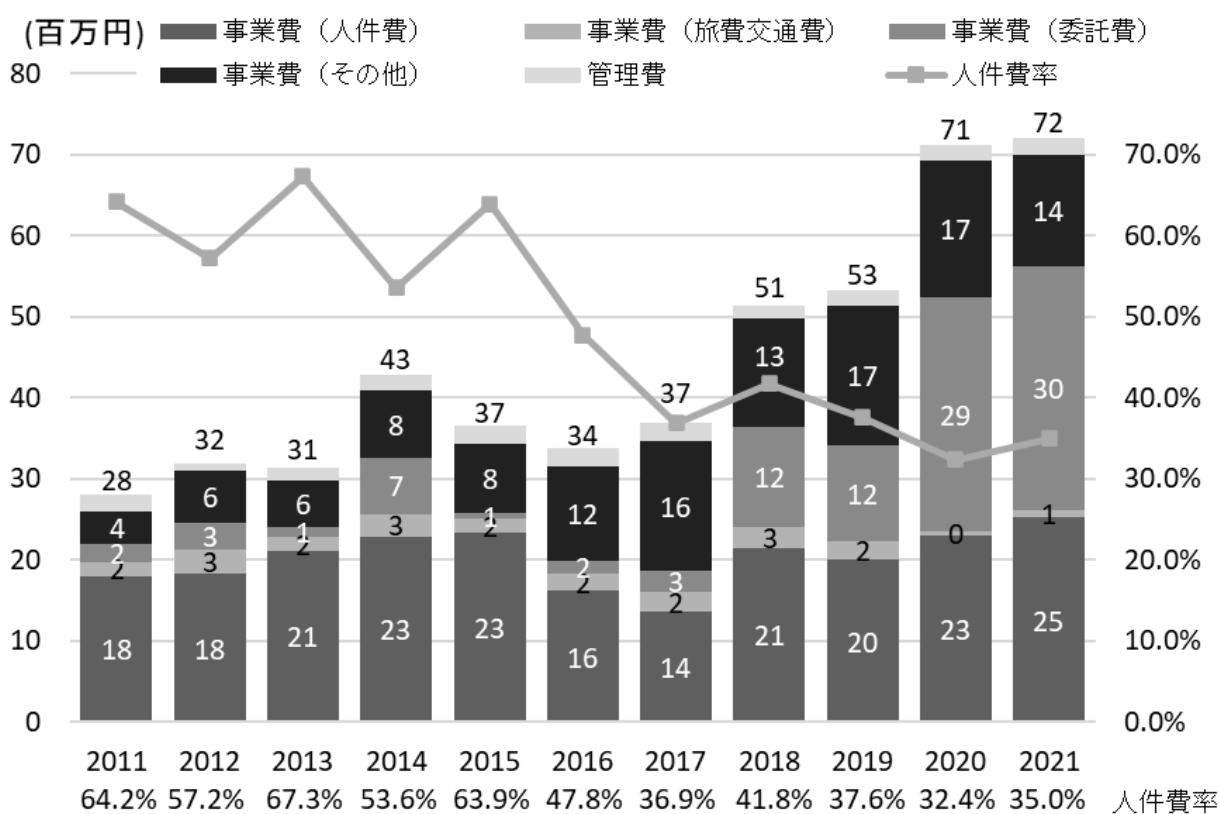


図5 固定資産の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

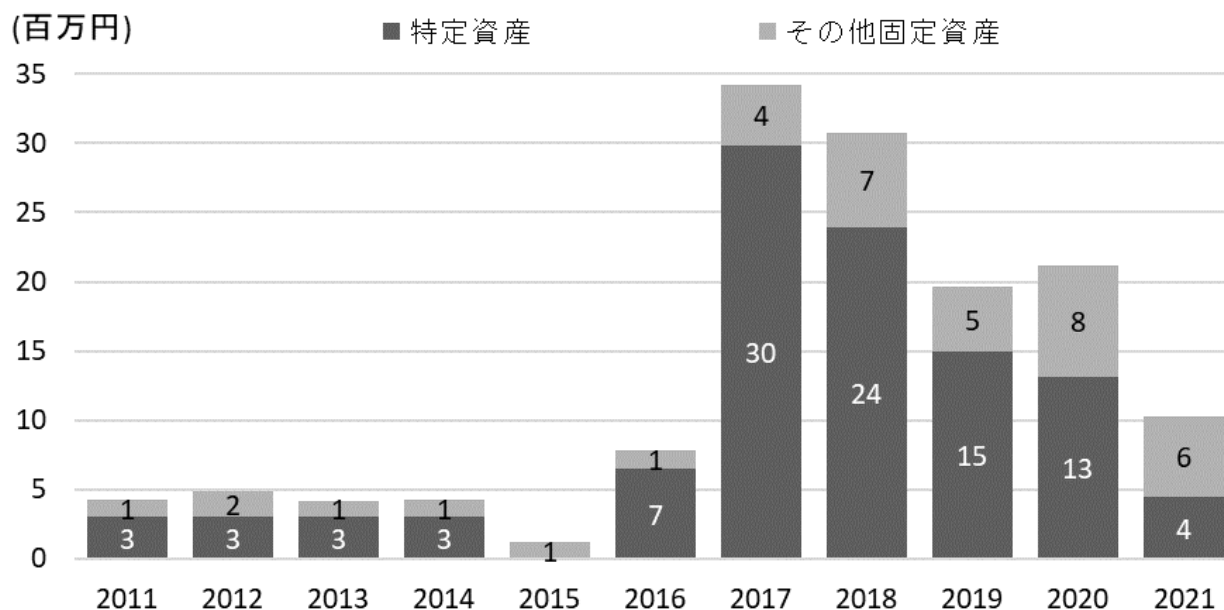


表 各年度で特記すべき規模の補助金・助成金・支援金・委託費・寄附金等

年度	東御市 ※毎年の補助・委託は省略		長野県	国	民間	寄附
	健康福祉関係 (補助金以外)	高地関係 (外部含む)				
2011			元気づくり、 新しい公共			
2012			元気づくり、 新しい公共			
2013	健康課題調査	施設誘致	元気づくり			
2014	健康課題調査	施設誘致				
2015		施設誘致				
2016	子ども研究	プロモーション		厚労省支援事業	日本財団	
2017		プロモーション、 国際シンポ	元気づくり		健体財団	戸部様、 匿名遺贈受付
2018		日本水泳連盟				戸部様、 匿名遺贈支出
2019		日本水泳連盟	元気づくり			戸部様、 匿名遺贈支出
2020	健康づくり動画	日本水泳連盟、 モニタリング	元気づくり	ｽｰﾌﾟ支庁支援、 経産省給付金、 中小庁給付金	日本財団、 B&G 財団、 健体財団	戸部様、 匿名遺贈支出
2021	ワクチン接種	インナー施策、 モニタリング	元気づくり		日本財団、 B&G 財団	戸部様

Ⅲ. 法人の課題

改善すべき点や今後の方向性など法人の課題について、直近の事業の状況や近年の社会情勢もふまえて、大きく3つ（A：連携、B：財源、C：構想）に分けて整理したうえで、以下の通り箇条書きで示す。

- A) **【連携】日頃から、研究所内、法人組織内、関連機関との円滑な連携で活動が進めやすい環境を整える。**
- 所員の業務形態は、調査研究、教育啓発、情報発信、法人管理運営と大きく4つに分かれる。これを、研究部、指導部、総務部それぞれが役割分担しながら取り組みを進めている。また活動分野が、子どもの育ち、心身の健康、みんなのスポーツ、と幅広い。そのため、どうしても所員個々の分業で負担が大きくなりやすく、月例ミーティングやメール・LINE等での業務連絡・情報共有は行っているが、所内でより連携を深めて事業に取り組めるように、全体の業務負担を軽減しながら時間的な余裕を作っていく。
 - 法人組織内の客員研究員や役員等と、不定期であっても情報共有や意見交換ができる機会を定着させる。そのことにより、研究所に関わる貴重な人材から、活動の充実に力添えを受けられる流れを作る。
 - 研究所うんなん、東京健康リハ総研、その他つながりの深い関係機関・団体・企業等との連携についても、これまで以上に協働を意識し、信頼関係を高めながらより大きな成果が得られるように努める。
- B) **【財源】公益目的事業の持続可能性を高めるために、大口の収益に依存し過ぎない安定財源を構築する。**
- 法人存続要件の正味財産 300 万円を下回った 2015 年度以降、外部資金獲得を含んだ様々な自助努力と関連機関の支援、そして多額のご寄附等によって、年度ごとの変動は大きいものの、結果的に継続して一定以上の正味財産を維持できてきた。しかし、継続して得られる保証がない大口の財源は不安定要因でもあることから、小口でも多数の支援を継続して受けられるような仕組み（会員制度等）を構築する。
 - 単体では収支バランスが取りにくい事業の多くは存在意義の大きな取り組みであり、周囲の理解と協力が得られやすいことから、事業継続のための支援を受けられるように、より積極的に働きかけていく。
- C) **【構想】Society 5.0 やポストコロナ等を見据えて、次期(第4期)中期計画(2024~2027)を検討する。**
- 「情報社会」の次の新たな社会のあり様として、「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と定義される Society 5.0 を見据えて、今後予測される活動形態の変容を想定しながら、次期中期計画期間に向けた構想の検討を始める。
 - 新型コロナウイルス感染症拡大によって経験した社会の大きな変化をふまえて、これから起こり得ることに想像力を働かせながら、今後改善・解決すべき新たな社会課題に積極的に取り組んでいく。
 - デジタルの発達が進むがゆえのアナログの価値や、リアルな場・体験の重要性等、関わりのある活動の中で普遍的な価値が見いだせるものを研究所の取り組みの強みとして、理解者・支援者を増やしていく。



【左】一般社団法人日本経済団体連合会より <https://www.keidanren.or.jp/policy/society5.0.html>

【右】内閣府 > 政策 > 科学技術政策 > Society 5.0 より https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/